



SOCIAL ACTIVITIES REPORT

VENTFORET KOFU

2024

BEYOND >>>
FOOTBALL CLUB

Contents

CLUB VISION | 01

地域連携 | 02

環境 | 05

健康 | 07

教育 | 09

国際交流 | 10

About VK | 11

SPONSORS | 13

VENTFORET Topics

ヴァンフォーレ甲府のあるべき姿

-KOFUKU-YAMANASHIへキックオフ-



詳しくはコチラ

Topics01 クラブの理念

ヴァンフォーレ甲府は、人々をつなぎ幸福をもたらす存在でありたい

ヴァンフォーレ甲府は、誰よりもフットボールを愛し、山梨に誇りを持ち、愚直にやり続けることを社会的使命とします。また、スポーツを通じて文化・教育・健康などへの貢献と山梨県並びに各地域との間で新たな価値を共創するフォーメーションを構築して、住んで良し・訪れて良しの豊かなプロヴィンチア「山梨」づくりにフットボールクラブを超えた存在になって貢献します。



Topics02 フットボールクラブが目指す共創の姿

ヴァンフォーレ甲府は Beyond Football Club フットボールクラブを超えた存在に

ヴァンフォーレの新たな戦略

Connect

Reskill

クラブが果たす役割

地域の人々をつなぐ

新しい価値を共創するフォーメーションをつくる

関わるステークホルダーの成長とブランド力向上に貢献

自己肯定感が高まる存在となる

クラブが目指す姿

強いヴァンフォーレ甲府の実現、魅力あるフットボールを表現する

誰もが地域・社会貢献をしている山梨

女性・子どもが集まる・暮らしやすい山梨

主体が人であり、人間らしく生きられる幸福な山梨に貢献

Topics03 VISIONを実現するための重点戦略

5項目を重点戦略と位置づけ、J1に定着するチームづくりと地域社会を実現する

重点戦略
Connect & Reskill

- 選手発掘とアカデミーの充実**
フットボールクラブとしてJ1に定着するための使命
- サポーターやファンとのつながりを強化**
クラブがサポーターやファンと歩んできた歴史の継承と新たな価値観への対応
- パートナー企業の締結と共創価値の発掘**
パートナーに寄り添い、新たなニーズに答えていくためのリソースの発掘
- 施設整備の実施・施設運営力強化**
まちづくりの基盤整備に向けた野心的な取り組み
- SDGsが照らす新たな経営モデルへの対応**
社会課題を新規事業機会に読み替える

Topics04 ヴァンフォーレ甲府の行う社会連携活動の価値を山梨へ還元



これまで取り組んできたサッカー教室やエコ活動など様々な地域交流活動の名称やロゴを変更するというのではなく、これまでの貴重な取組の延長線としての「持続可能な社会づくり」にクラブとしても新しい地域経済モデルの開発やイノベーション創出を目指すことを「本質的な動機」に出来ないかとして位置づけています。スポーツ×SDGsをクラブの組織事業戦略基軸の一つとして、より高度に差別化した組織体へと野心的に考えています。



「青少年の健全育成」や「健康で豊かな生活の実現」「国際的視野を広げ、国際協調の精神を養う」という観点に立ち活動を実施しています。また、サッカーだけではなく、様々な運動やスポーツ本来が持ち合せている、楽しさや素晴らしさと共に、仲間と力を合わせる喜び、考えることの面白さなど、これからの社会生活で必要とされる要素を伝えることで教育の一助とすることも目的です。



社会課題や共通のテーマ(教育、ダイバーシティ、まちづくり、健康、世代間交流など)に、地域の人・企業や団体(営利・非営利問わず)・自治体・学校などとJリーグ・Jクラブが連携して、取り組む活動です。様々な協働者と、共通価値を創る活動を目的に、社会貢献活動等を通じて、地域社会の持続可能性の確保、関係性の構築と学びの獲得、それぞれのステークホルダーの価値の再発見に繋がるものと考えています。



- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も

地域との連携 Cooperation with Local Communities

関わる人々に成長の機会を提供し、地域関心コミュニティの形成と幸福な山梨を実現することをビジョンに、山梨県を取り巻く環境の変化に適応した新しいクラブ価値を提供できる組織であり続けることを実践するため、地域との連携は欠かせないものです。

Topics01 甲府市「おしろらんど」ネーミングライツ取得

アソシエイト SDGs 3 4 11 17

一般社団法人ヴァンフォーレスポーツクラブは4月1日、「おしろらんど(甲府市子ども屋内運動遊び場/甲府市丸の内一丁目10番7号)」のネーミングライツを取得しました。そして名称を「ヴァンフォーレおしろらんど」として運営いただいております。

今回の取得に際し、我々のような事業規模の小さいスポーツクラブが「挑戦」した理由は「感謝」と「循環」です。

「感謝」は、ホームタウンとして多大なるお力添えをいただいている甲府市への恩返しです。甲府市の「子ども未来応援条

例」の基本理念に賛同し、その活動を支援することが良いと考えました。次に「循環」。クラブの主たる収入事業は子どもたちを対象としたサッカースクールです。その会費を「子どもたちの運動能力向上」に取り組む本施設にネーミングライツを通じて環流し、役立てて頂くことは、「子どもたちの未来」でもあり、「地域の未来」でもあると信じています。

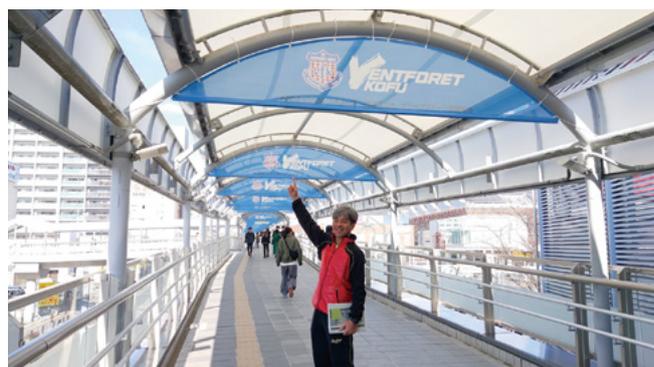
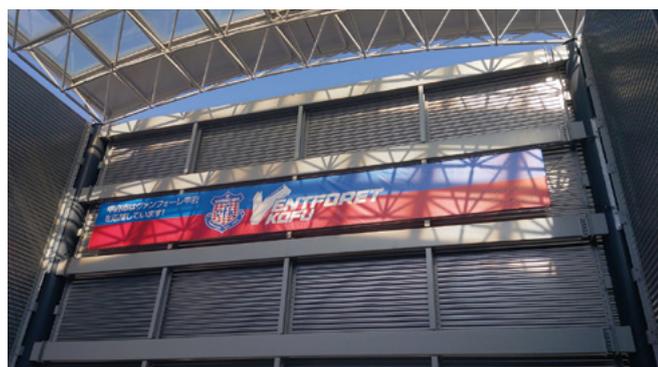
地域の皆さまのスポーツクラブとして、「挑戦」する姿勢を示し、スポーツの可能性を原動力に地域社会の「心地よさ」の一助になれると考えています。



Topics02 甲府駅北口ペDESTリアンデッキの装飾

アソシエイト SDGs 11 17

AFCチャンピオンズリーグ2023/24でのノックアウトステージ進出を記念し、甲府市に協力いただき、山梨の玄関口である甲府駅北口の新たなシンボルとしてオリジナルタペストリーを掲出いただきました。



Topics03 南アルプス市とグリーンパートナー協定締結

6 7 11 13 14 15 17

南アルプス市とはアカデミーの拠点として活動し、地元出身選手による学校訪問やクラブを活用した交流人口増加施策など多岐にわたり協働して活動を行ってきました。

そして今回、ユネスコエコパークに関するパートナーシップ(通称:グリーンパートナー協定)を締結しました。

グリーンパートナー協定とは、南アルプス市の豊かな自然環境を次世代につなぎ、相互に連携と協力を行うことにより、生物多様性の保全や持続可能な環境保護対策を実践するための行動主体として認め合うための協定です。今後は活動の幅を広げ、地域に還元できる活動を共に行います。



Topics04 神明の花火 クラウドファンディング&コラボ花火の打ち上げ

11 17



市川三郷町が全国に誇る「神明の花火」にて、特大コラボ花火「風林火山〜青赤の誇り〜」を打ち上げていただきました。

打ち上げ資金をクラウドファンディングを利用し調達。目標金額の120%の資金を集め、花火打ち上げを成功させることができました。

支援いただいた方への返礼品として市川三郷町ver.のヴァンくん・フォーレちゃんがデザインされた町とのコラボグッズを製作。また告知ではSNSやYouTubeを活用し、多くの方々へ神明の花火の情報発信を行いました。



動画はコチラ



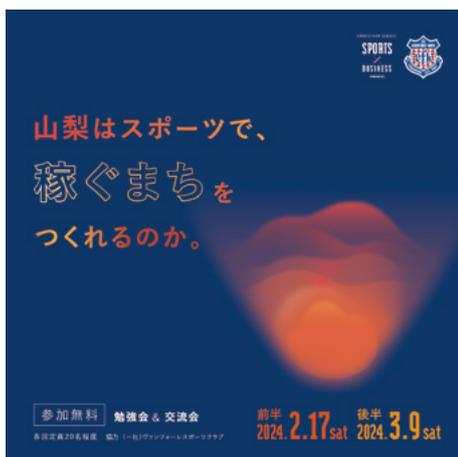
Topics05 韮崎中央公園「EF15形」修繕 PR協力

11 17



練習拠点でもある韮崎中央公園内にあるシンボル「電気機関車EF15形」の修繕がクラウドファンディングを用いて資金を調達し行われ、クラブは動画を撮影し協力を仰ぎました。

Topics06 関東経済産業局との協働事業～山梨はスポーツで「稼ぐまち」をつくれるのか？～



ヴァンフォーレSDGs 8 9 11 17

関東経済産業局と協働で、「山梨はスポーツで稼ぐ街をつくれるのか」について考える勉強会&交流会を開催しました。

当日は高校生から行政職員、多種多様な企業社員、さらには県外から参加した方など、年齢層も幅広い方々が参加しました。

クラブが持つ様々なリソースを地域活性化や地域産業との結びつき、スポーツクラブを活かして街を盛り上げるにはどうすれば良いのか、スポーツで経済効果を生み出すことができるのかなど、スポーツを通じたやまなしの将来について参加者の皆さまとセッションしました。

今後もクラブが持つ影響力で人々を繋げ、未来あるやまなし・まちづくりに貢献できるよう活動します。



Topics07 ヴァンフォーレSDGsデー

ヴァンフォーレSDGs 3 4 7 10 11 13 14 15 16 17



試合を通じてSDGsについて学び、理解を深めてもらうべく、「ヴァンフォーレSDGsデー」を開催。株式会社日建による地雷処理機の展示や金属探知機を用いた地雷原体験、株式会社ホンダモーターサイクルジャパンによる環境にやさしい電動バイクの親子体験、楽しみながら森林の現状や持続的な活用について学ぶことができる株式会社山梨日日新聞社によるmoritomiraiカードゲーム体験など様々な分野のSDGsを学ぶ

ブースイベントを開催しました。当日は多くの親子の姿から笑顔と真剣な眼差しを見ることができ、「環境や世界情勢などについて考えるきっかけになった。」「子どもと一緒に体験できたことは親の私も勉強になる。」など様々な声を聞くことができました。

各種活動と同時に、多くの人のきっかけになるイベントも継続して行っています。

Other

- 各種ホームタウンイベント参加
ぼたんの花まつり、山中湖フラワーフェスティバル、道志村体育まつり など

この他にもさまざまな活動を行っています。

- 各種スポンサーイベント参加
クスリのサンロードお客様健康感謝DAY、出張ヴァンフォーレパークin富士急ハイランド やまなしスポーツファンフェス など



環境 Environmental activities

Topics01 AFCチャンピオンズリーグでのリユースカップ導入

2004年からエコスタジアムプロジェクトとして、試合会場においてリユース食器を利用してきました。

昨年からはリユースカップの自動回収機を設置するなど、リーグの中でも先進的な活動を続けています。

そして今年はAFCチャンピオンズリーグ2023/24において、国立競技場のVIPエリアのお客さま向けにリユースカップを導入。クラブが長年行ってきたCO₂排出量削減をアジアの舞台で実践・発信することができました。



Topics02 ヴァンフォーレ みんなでゴミ拾い&分別アクション



2018年より「LEADS TO THE OCEAN海に続くプロジェクト」として、試合前後にスタジアム周辺の清掃美化活動を行っています。

今年はスポーツ界横断プロジェクト日本財団HEROs PLEDGEに参画し、「みんなでゴミ拾い&分別アクション」を実施。スタジアム周辺にとどまらず、小瀬スポーツ公園内外をウォーキングしながらゴミを拾いました。拾ったゴミを各種分別することで、拾うだけでなく、ゴミを減らすことや、分別の重要性などを考え、そのために何ができるのか、何をすべきなのかなど、環境問題に対する意識向上を促しました。また、プラスチック削減施策を実施し活動を広げていく事で、ソーシャルインパクトを起こし、その変化を継続促進させることを目的に実施しました。活動実施前にはスタッフより実際に地球上で起きている環境問題について参加者へレクチャーを行ってからウォーキングをスタート。拾ったゴミは6種類(「資源化できない可燃物」「きれいな紙類」「缶・びん」「食べ残し」「きれいなプラ」「ペッ

トボトル)」に分別し、理解意識を深めました。またエコステーションを一新し、ゴミの分別も今までの3種類から6種類に変更しました。

そして、株式会社田丸にてこの日に回収されたゴミの量を計測・組成分析を実施。スタジアム全体で発生するプラスチックゴミ等の質量を推計値で算出し、回収した試合(観客数:7,300人/可燃物228.0kg、不燃物95.0kg、組成分析回収分93.9kg、合計416.9kg ※ダンボールを除く)でのプラスチックゴミの推計値は336.6kgと推計されました。

今後はこの数字を参考に、プラスチックゴミ削減に向けて、ファン・サポーターの皆さまと共に活動を行います。



Topics03 ヴァンフォーレホームタウンライド




株式会社ホンダモーターサイクルジャパンと共催で、電力で駆動するEVバイクに乗って街を巡るツーリズム企画「ヴァンフォーレホームタウンライド」を実施しました。

ビジターチームのファン・サポーターの皆さまをターゲットに、クラブスポンサーや行政などにも協力いただき、街の観光スポットや食事処、工場見学など山梨にいるヴァンフォーレファン・サポーターの皆さまと交流しながら、山梨ならではの様々なスポットを巡り・体験するイベントです。

試合で来県するビジターチームのファン・サポーターの皆さまに対して、「試合観戦のみ」では無く、「試合観戦+α」を提供することを目的に実施。さらには着脱式のリチウムイオンバッテリーを搭載した最新型のEVバイクで、普段バイクに乗らない方でもスタッフからの講習があり、安心安全で快適なツーリングが出来るようサポートしています。

Topics04 明治安田×Jリーグの森 ~未来をつむぐ森~




Jリーグ、明治安田甲府支社と協働で、笛吹市芦川町にて植樹活動を実施。親子を中心とした県内在住の方、明治安田、Jリーグ、クラブスタッフなどの総勢114名が参加し、地元植生のミズナラやヤマザクラなどの広葉樹を400本植えました。植樹後は、ヤマザクラの間伐材を使用し、お箸づくりを行いました。



地元の森林組合の方々にサポートいただき、間伐材にやすりをかけ、胡桃オイルのコーティングを行うなど、実際に材料を手に取り細かな作業を行うという貴重な体験の場となりました。

クラブが長年続けている活動と並行して、新たなチャレンジを行い、未来ある地域にすべく活動します。

Certification GXリーグへの参画



クラブは方向性を同じくする企業や組織と協働・連携を図り、さらなる事業の推進を目指すとともに、持続可能な社会の実現に貢献していくため、プロスポーツクラブとして初めてGXリーグに参画しました。

GXリーグとは、経済産業省が公表した「GXリーグ基本構想」にもとづき設置され、2050年のカーボンニュートラル実現や、それに向けた経済社会システム全体の変革に積極的に挑戦し、現在および未来社会における持続的な成長実現を目指す企業が、同様の取組を行う企業や官・学と共に協働する場であり、日本を代表する大企業を中心に現在約750社が参画しています。

また、2020年にはこちらもプロスポーツクラブとしては初めて「中小企業向けSBT・再エネ100%目標設定支援事業」に選ばれました。



Other

この他にもさまざまな活動を行っています。

- エコスタジアムプロジェクト
2004年より、リユース食器の使用
(スペースふう)
- ヴァンフォーレカラーリサイクルボックス
(田丸、クスリのサンロード)

- LEADS TO THE OCEAN海に続くプロジェクト
(海さくら、日本財団)
- ヴァンフォーレと学ぼう！
親子でSDGs×サッカー(甲府市)



健康 Health program

Topics01 山梨県国民健康保険団体連合会と「健康づくりとスポーツに関する連携協定」の締結


3 17

山梨県国民健康保険団体連合会と過去17年にわたって国民健康保険のPR(ポスターやテレビCMへの選手起用)を連携して行ってきました。今後はより一層の密接な連携及び協働により、地域の健康づくりとスポーツの向上に貢献し、県民が健康で安心して生活できる環境づくりを目的とし、「健康づくりとスポーツに関する連携協定」を締結しました。



Topics02 中央市総合防災公園オープン記念サッカークリニック


3 11 17

中央市が令和元年より整備を進めてきた中央市総合防災公園が完成し、オープン記念イベントとしてクラブアンバサダーの小椋祥平氏、ハーフナーマイク氏によるサッカークリニックを実施しました。市内の小学生約170名が参加し、新しい施設

でサッカーを楽しみました。

また、同会場にて9月よりハーフナーマイク氏によるサッカースクール(スキルアップクラス)も開校しました。



Topics03 U-3 親子サッカーフェスティバル in 富士急ハイランド


3 4 5 10 11 17


地元NPO法人や富士吉田市と富士河口湖町のサッカー協会、株式会社富士急ハイランドと協働し、3歳以下の親子を対象にしたサッカーフェスティバルを開催しました。

当日は64組の親子が参加し、富士急ハイランド園内にあるセントラルパークでスクールスタッフの指導の下、楽しくボールを蹴りながら体を動かしました。

富士吉田市や富士河口湖町周辺地域の子育て支援や郡内エリアの長期的なサッカー文化の醸成を目的としており、今後は、今回参加した3歳以下の子どもたちのが年を重ねていくのと同じように年齢別のフェスティバルを実施し、人生を通してサッカーと接点を持ち、親子で成長を実感できる発展的なイベントとすることを目標にしています。



研修テーマを「地域社会から学ぶ」とし、社会福祉法人甲府市社会福祉協議会に協力いただき、公民館で行われているサロン活動(笑いヨガ)に新卒の2選手(村上千歩、井上樹)が参加しました。

研修を通じて肌で感じたことの裏には、どんな社会背景や構造があるのかを数字を用いて学びながら、『プロスポーツ選手』『地域住民』として何ができるのかを考え、カタチにしていく場として活用させていただきました。

村上選手「笑うことで、改めて感情を出すことの大切さに気づくことができました。それはサッカーの部分でも大切になってくると思います。」

井上選手「自分たちにしかできない形で地域の人々を支えて行くことがより良い社会をつくること(福祉)に繋がると思います。」

それぞれが各々の感性で学びを得た機会となりました。



Topics05 山梨県理学療法士会公開講座 身体の特シャリストと学ぶ親子『カラダ』ワークショップ

一般社団法人山梨県理学療法士会と連携し、「理学療法士の認知拡大」というテーマで公開講座を実施しました。

試合会場やクラブスタッフなどクラブが持つリソースを活用し、親子(小学生年代)を対象にワークショップを行い、理学療法士の仕事紹介や、若年層に対する運動機能向上プログラム、運動と栄養講話、実食などクラブに所属する理学療法士か

ら直接伝えることで、この仕事をより実感してもらうことができました。また、試合当日ということもあり、プロスポーツの現場の雰囲気を感じていただくことができました。事後アンケートでも参加者からは高い満足度をいただき、高評価を得たイベントとなりました。



Other

この他にもさまざまな活動を行っています。

- サッカースクール(全6会場)
- 大人のサッカースクール
- ヨガの時間
- アジリティ&ラン
- アイスホッケースクール
- みしゅましゅ
- 経済産業省令和2年度「地域企業イノベーション支援事業」
- 巡回スポーツ教室
- シニアわくわく健康運動教室(笛吹市/甲斐市/中央市/甲州市)
- 介護予防事業(韮崎市/笛吹市)
- 緑ヶ丘元気アッププログラム(甲府市/甲府市スポーツ協会)
- ランククリニック(甲府市/道志村)



VENTFORET Topics

教育 Educational program

Topics01 山中湖村への書籍の寄贈



山中湖村における「書店の無い村内にて本の販売と読書習慣の呼びかけ」「閑散期の平野地区における交流・関係人口の増加」という2つの地域課題にアプローチするため、昨年に引き続き「LAKE YAMANAKA FESTIVAL」を6月に開催しました。当日は読書以外にも薪割りや火起こしなどのアウトドア体験、EVバイクの試乗体験など子どもたちが様々な“体験”をできるスペースを設置。子どもたちの可能性を広げるイベントになりました。

その売り上げの一部と協賛金で、児童書や絵本を購入。山中湖村へ株式会社トーハンとともに寄贈しました。寄贈した書籍は、村内の小中学校3校へ蔵書され、子どもたちへの読書推進に役立てられています。

Topics02 選手の母校訪問



地元出身選手が母校を訪問し、学生時代のこと、プロになるまでに努力したこと、困難の乗り越え方などを子どもたちへ直接伝えました。子どもたちは選手から届けられる言葉ひとつ

ひとつに真剣な眼差しで聞き入っていました。また試合への招待もおこない、子どもたちは実際にピッチに立つ選手たちをスタジアムで応援しました。

Other

- ヴァンフォーレ仕事図鑑
- ヴァンフォーレ夢のチカラ
- こうふドリームキャンパス
- 小学校巡回スポーツ教室
- 山梨学院大「スポーツとビジネス」講義
- ヴァンフォーレご飯のチカラ
- 中央市外国籍児童第三の居場所事業

この他にもさまざまな活動を行っています。



国際交流 International exchange activities

Topics01 サッカークリニックinインドネシア2024


3
16
17


サッカーは東南アジア諸国において、老若男女問わず非常に人気のあるスポーツです。サッカーを通じて東南アジア諸国の子どもたちにスポーツの楽しさを感じてもらおうとともに、現地の方と交流し、クラブに関わる様々なステークホルダーの皆さまと現地の皆さまを繋ぎ、新しい価値を共創することを目的とし、サッカー教室を開催しました。

この事業を通じて、東南アジア諸国において活動を持続的にを行い、国際交流の機会を増加させることでクラブの魅力を伝え、またJリーグ及び日本サッカー界全体の価値向上も目的としています。

昨年よりインドネシアでの活動をはじめ、今年はインドネシア BAYAN GROUP、株式会社シャトレゼ、横浜ゴム株式会社、株式会社JRC、インドネシヤクルト株式会社、鈴健興業株式会社、PT日立建機インドネシア、株式会社日建、PT.Super Wahana Tehnoに協賛、ミズノ株式会社にウェアを提供、また在インドネシア日本国大使館に後援をいただくなど、多くの方々のご支援のもと、9月と10月にジャカルタ、バンドン、バリクパパンの3か所で7～12歳の約400名を対象にサッカークリニックを開催することができました。今後も東南アジアを中心に、海外での活動を継続的に行っていきます。

Past Activities これまでの活動

日程	活動内容	パートナー
2015年2月	ラオス サッカー教室	日建
2015年6月	カンボジア カンボジア地雷復興 農業開発プロジェクト	日建 はくばく
2016年2月	カンボジア バタンバン州サッカー教室	日建
2017年3月	カンボジア バタンバン州サッカー教室	日建
2019年2月	カンボジア バタンバン州サッカー教室	日建

日程	活動内容	パートナー
2020年2月	カンボジア バタンバン州サッカー教室	日建
2022年11月	カンボジア バタンバン州サッカー教室 Angkor Tiger FC交流	日建
2023年8月	カンボジア 日本人会サッカー教室 バタンバン州サッカー教室 Boeung Ket FC・ Angkor Tiger FC交流	日建
2023年10月	インドネシア サッカークリニック	BayanGroup シャトレゼ PT Yakult IndonesiaPersada

Topics01 ヴァンフォーレ甲府 クラブアンバサダー



クラブOBであるハーフナーマイク氏、小椋祥平氏がヴァンフォーレ甲府クラブアンバサダーに就任しました。

クラブアンバサダーは、クラブの中期計画『CLUB VISION 2030』のキーワードでもある「Connect」(つなぐ)役割を担い、クラブとファン・サポーター、スポンサー、地域住民等、様々なステークホルダーを繋ぐ存在として多岐にわたりクラブの顔として活動しています。

※今までに石原克哉氏(現U18コーチ)、橋爪勇樹氏(現広報担当)が歴任しました。

フットボールを通じた感動や熱狂の提供だけでなく、「地域のスポーツクラブ」として、健康、教育、環境、国際交流等を中心に、クラブが推進するノンフットボール領域において、人との交流を通じて、「山梨から世界へ」笑顔を増やす活動を協働し行います。今年はサッカー教室や健康教室のほか、環境活動やスポンサー・ホームタウンイベントなどクラブの幅広い活動に参加しています。

また、ハーフナーマイク氏はゆかりのある昭和町の「昭和町スポーツ文化応援大使」にも就任しました。



Topics02 ホームタウン ヴァンくん・フォーレちゃん

ヴァンくん・フォーレちゃんを各ホームタウンの特産品や名所などをモチーフにし、新たなデザインを製作しました。

こちらの製作には全市町村が加盟する「ヴァンフォーレ甲府を支援するホームタウン連絡会議」の皆さまにアイデアを募り製作しました。

今後はこちらのデザインを使用し、ホームタウンのシティプロモーションやクラブのオフィシャルグッズ製作などを行い、クラブを通じたシビックプライド(やまなし愛)の醸成を行います。

山梨県内全27市町村を2種類ずつ、やまなし共通ver.12種類の合計66種類です。

ぶどう



武田信玄



もも



鶺鴒



やはたもも&ぎゅぎゅつとねぎ



- | | | | | | | | |
|--------------------------|------------------------|-------------------------|----------------------|------------------------|------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 1 貧困をなくそう | 2 飢餓をゼロに | 3 すべての人に健康と福祉を | 4 質の高い教育をみんなに | 5 ジェンダー平等を実現しよう | 6 安全な水とトイレを世界中に | 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 8 働きがいも経済成長も |
| 9 産業と技術革新の基盤をつくろう | 10 人や国の不平等をなくそう | 11 住み続けられるまちづくりを | 12 つくる責任つかう責任 | 13 気候変動に具体的な対策を | 14 海の豊かさを守ろう | 15 陸の豊かさを守ろう | 17 パートナリシップで目標を達成しよう |

この冊子は環境に配慮した用紙とインクを使用して制作しています。



ヴァンフォーレ甲府について About Ventforet

クラブ概要

法人名	株式会社ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ
代表	代表取締役社長 佐久間 悟
所在地	〒400-8545山梨県甲府市北口2-6-10
電話番号	055-254-6867
事業内容	①サッカークラブの運営 ②サッカー試合の開催、運営 ③その他クラブ運営に関する一切の業務 ④旅行業代理店
発足	1965年(甲府第一高OBを中心に甲府サッカークラブとして)
設立	1997年2月7日
資本金	3億6,700万円
株主	山日YBSグループ…9,120万円(24.9%) 山梨県…8,000万円(21.8%) 甲府市…4,000万円(10.9%) 韮崎市…2,000万円(5.4%) その他企業・団体…83企業 個人…267人

法人名	一般社団法人ヴァンフォーレスポーツクラブ
代表理事	長田 圭介
所在地	〒400-8545山梨県甲府市北口2-6-10
電話番号	055-267-7686
事業内容	①サッカーの普及・育成を図る活動 ②学術・文化・芸術又はスポーツの振興を図る活動 ③国際交流活動に関する事業
設立	2016年11月22日



チーム名の由来

「VENT(風)」「FORET(林)」というフランス語の組み合わせで「風のように疾く、ときには林のように静かに…」で知られる戦国時代の武将、武田信玄の旗印「風林火山」に基づきます。



エンブレム

チームカラーの青を基調にデザイン。山梨の豊かな自然の象徴として県花「フジザクラ」を上部に配し、ヴァン(風)フォーレ(林)のチーム名の由来である武田信玄の家紋・武田菱と、山梨の特産品であるぶどうをイメージしたワインレッドで表現。中央の「VFK」は、ヴァンフォーレ甲府の略語であるとともに「Vital Fighting Knights(生き生きと戦う気品ある勇士たち)」を意味します。

ヴァンフォーレ甲府クラブマスコット



ヴァンくん(左)

山梨特有の日本犬で、国の天然記念物でもある「甲斐犬」がモチーフ。みんなから親しみやすく、覚えやすい名前であること、サポーターのみなさんからの応募数が一番多かったこと、そして「ヴァンフォーレ甲府」の頭の部分を取って命名されました。

フォーレちゃん(右)

ヴァンくんと同じ「甲斐犬」をモチーフにしており、ピアノが得意な女の子です。山梨の名物である、ぶどうの葉をイメージした前髪が特徴です。ヴァンくんと一緒にチームを盛り上げます。

クラブの歴史

1965	甲府第一高OBによる「鶴城クラブ」を母体として日本サッカーリーグ(JSL)を目指す「甲府クラブ」を結成。
1995	チーム名を「ヴァンフォーレ甲府」に改称。
1997	「株式会社ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ」を設立。
1999	J2に参戦するも最下位で終了。
2000	19連敗を含む26試合未勝利を記録し、2年連続最下位。12月には存続の危機に直面。
2001	主要株主より役員らが再建に着手。チームは3年連続最下位で終える。
2005	J1・J2入れ替え戦で柏レイソルに2連勝し悲願のJ1昇格。ホームタウンを甲府市、韮崎市を中心とする全市町村へ変更。
2012	24戦無敗を記録し、J2優勝を飾る。
2017	4月より「一般社団法人ヴァンフォーレスポーツクラブ」の活動を開始。
2022	天皇杯JFA第102回全日本サッカー選手権大会にて初優勝。クラブ初の主要タイトル獲得。
2023	J2としては17年ぶりにAFCチャンピオンズリーグへ参戦。国立競技場でホームゲームを行い、J2として初めての勝利を記録。
2024	AFCチャンピオンズリーグにてベスト16。

オフィシャルメディア



X (Twitter)

オフィシャル



@vfk_official



Instagram

チャレンSDGs活動



@vf_sdgs



Youtube



@vfk_official



@ventforetkofu1965

ヴァンフォーレ甲府は、地域の皆様と共に

ヴァンフォーレ甲府は、これまで多くの困難を乗り越えてきました。

勿論、多くの皆さまからのご支援とご協力のお陰であることは言うまでもありません。しかし、同時に我々クラブには、「これまでのクラブの存在意義を捉えて、社会から求められ続ける価値をどのように維持・発展させていくべきなのか」ということを常に追求しているオンリーワンの集団であると自負しています。この度の中期計画は、決して目新しいものでもなく、これまでのクラブの強みをもう一度、整理してから前進して必ずや成功したいという決意の表れであることをご理解頂ければと思います。

世界的にも著名な心理学者であるアンジェラ・ダックワースは、『「成功のカギは社会的知性ではなくルックスでも身体的健康でもまたIQでもない」重要なのは「やり抜く力」GRITである。』と語っています。このやり抜く力とは、長期目標に向けた情熱や忍耐力でスタミナがあることであり、明けても暮れても自らの将来に拘ること。「何年もの間一生懸命に取り組み、その夢を実現すること」と定義し、マラソンを走るように生きることでもあると語っています。そして、「才能とやり抜く力とは違う」と。

私たちは、この計画と共に最高の知恵を出し、最強の直感を使って、もう一度J1復帰にトライする。「能力は固定されておらず、努力によって変えられる。」ことを信じ続けたいと思っています。我々は、小さな巨人でありたい。

2024 VENTFORET KOFU OFFICIAL SPONSORS

スポンサーの皆さまのご支援に心から感謝申し上げます

ユニフォーム・練習着



地域交流ウェア



ユニフォームサプライヤー



ドリンクサプライヤー SUNTORY

チケットングパートナー



ビジョン



選手入場ロード



地域パートナー



応援定期協賛



ピッチ看板

はくばく	はくばく	十六穀ごはん	もち麦	山梨中央銀行	山梨中央銀行
NNS CCNet	YSK e-com	クスリのサンロード	MARUAI	山梨日日新聞社	甲斐ゼミナール
甲斐ゼミナール	エノモト	肉藤ハウス	SPA LAND ホテル内藤	日医工山梨	TEL 東京エレクトロン
KYOKUYO	フォキャスト	SHIFT PLUS	APIO BRIDAL GRANDSTAGE	ERTEC GROUP	山梨を食べよう JAグループ山梨・県産品
Mizuno	KITO	入居者募集!! フロシード甲府	建物総合管理 株式会社アポメンテナス	甲府信用金庫	甲府信用金庫
山梨交通	山梨交通	OOチケ	OOチケ	浅川熱処理	冠婚葬祭 アルス
印傳屋	甲斐日産	共信冷熱	全株特約 全信玄餅	グローバルハウス	小泉
甲州リハビリグループ	甲府 衣恋日ホテル	甲府キングサービス	甲府商工会議所 共済・貸室のご利用ありがとうございます	甲府ビルサービス	坂本 建運
SNC サニカ	山日YBSグループ	YBS山梨放送	アドブレーション社	サンニチ印刷	YBS T&L
JAグループ山梨	シモズオクト	清水建設	城東病院 IYARD	住友電工 デバイス・イノベーション	セコム山梨
チケット買うなら セファン・イルファン	タカギ	TIVOLI	都留信用組合	帝京科学大学	TERUMO
日産プリンス山梨	日建	NIPRO ニプロ医療電子システムズ	NLM 日本軽金属	日本公認会計士協会 山梨分会	NEOSYSTEM
Netz ネットヨコ甲斐	ハギンボー	早野組	パルシステム山梨長野	フコク生命	ふじざくら命水
ステンレス山伸マテリアル	ヤマト運輸山梨主管支店	山梨ガーデン	山梨学院大学	山梨信用金庫	山本基礎工業
RICOH	梨北信玄米	Ycc	FM KOFU 76.3	駆け上りなれ! VFK ヴァンフォーレ後援会	みんなでできる人権サポーター
サマージャンボ 宝くじ	ハロウィンジャンボ 宝くじ				

ベンチ屋根

砂場保護シート

フェアプレー

スタッフウェア



HPバナー

日立建機日本株式会社
関東甲信越支社 西関東支店

アカデミー

マスコット



バックスタンドバナー

イベント

担架

フェンス横断幕

ベンチ

カート看板

メインスタンドバナー

試合球スタンド



ベンチ前看板

メインスタンド最前列バナー

ベンチパネル

グルメパートナー

エスコートキッズ

コンコースバナー

PRスポンサー

その他のスポンサー

長田不動産管理 武田食品 OMO 日清オイリオ 古屋法律会計事務所 水口慎一・美津 山梨県交通安全協会 山梨県法人会連合会 らーめん食堂 れんげ

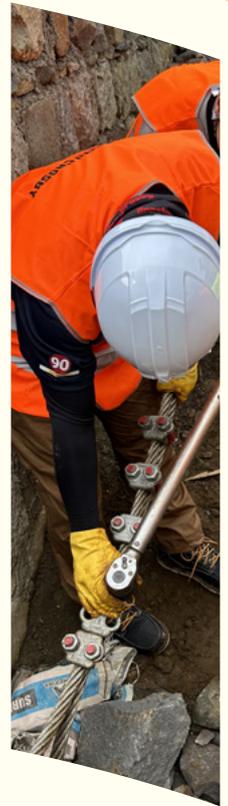
SDGsパートナー

諏訪本町運送 マルモ 山梨貨物自動車 オオキ ガスワン南関東 環境保全研究所

サポートカンパニー

アウゲン田辺眼科 燈屋 石和健康ランド 小川歯科医院 クリーニングすわん グルービー 甲州地どり市場 甲府ビルサービス 小松電工 桜湯 神州一味噌 スブランドホテル内藤 NOVA のりもの工房ツカダ 田辺産婦人科 美容室ZELE ブルーアース ヘルシースパサンロード ヘルシーレストランパセリ ホテル神の湯温泉 丸十山梨製パン 湯めみの丘 Reveur

地域の人々を繋ぐ希望の架け橋



アフリカ・ルワンダでの橋の建設

世界には雨季の増水によって川が氾濫し、川向こうの医療機関や学校、市場へ行くことができない人々があります。キトーは、そのような地域に橋を建設し、地域住民の孤立を防ぐアメリカの団体Bridges to Prosperityに賛同し、アフリカのルワンダにあるカンソロ橋の建設を行いました。橋の建設には、当社製品の固定用機器も提供。橋の完成によって、地域住民の生活の質の向上に大きく貢献しました。

能登半島地震災害ボランティア活動

日本国内でのボランティア活動にも積極的に参加しており、6月22日には石川県七尾市にて災害ボランティア活動を行いました。被災されたお宅を訪問して、家財などの不要物を搬出し、仮置き場に運ぶという作業を行いました。今回の地震による甚大な被害からの一日も早い復興を心から祈っております。



KITO®

株式会社キトー 本社工場

〒409-3853

山梨県中巨摩郡昭和町築地新居2000

TEL. 055-275-7521

<https://kito.co.jp>



がんばれ!ヴァンフォーレ甲府

キトーは「地域社会に貢献する」という同じ理念を持つ、
ヴァンフォーレ甲府を応援しています。